

小児科

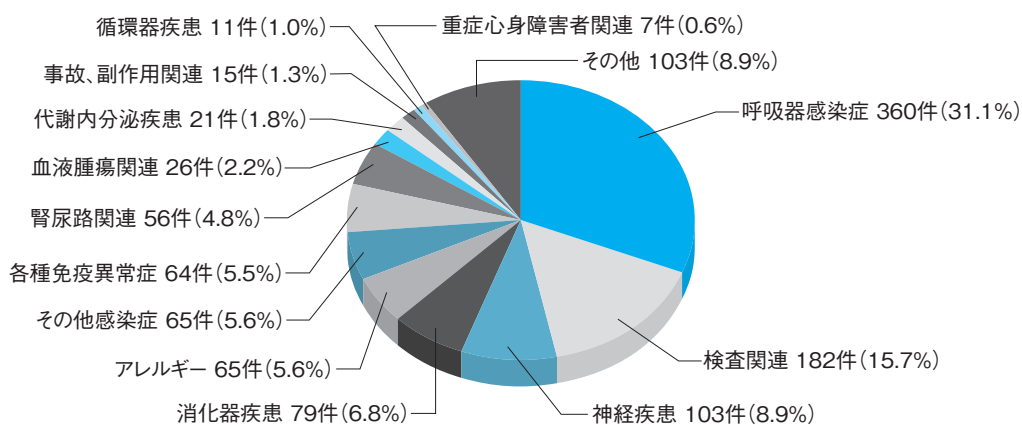
1. 概要

当小児科病棟スタッフは皆、東三河地域の最後の砦を担うという誇りと緊張感を持って日夜対応している。サブスペシャリティとしてはアレルギー疾患、神経疾患、循環器疾患、腎疾患、内分泌疾患、血液腫瘍疾患をカバーし、高度特殊医療を除けば各分野ともに専門施設と比べても引けを取らない医療レベルを提供できている。また、患者さんには最善の医療を提供すべく、各分野で対応困難な症例については惜しみなく専門施設との連携をとって対応している。このような体制を維持する意義は、極力地域で医療が完結することが患者さんご家族への最高のサービスの一つとなることにある。特に長期入院を必要とする場合、月に何度も専門外来にかかる必要がある場合には切実な問題である。一方で、周囲の一次医療、二次医療、休日夜間診療所の業務、健診医療の充実に支えられてこそ当院が二次、三次医療に集中することが可能であるということも忘れてはならない。

(第二部長 伊藤 剛)

●疾患別頻度

総件数：1,157件



学会発表（医局）

<小児科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	DOOR症候群の1例とその責任遺伝子	筆頭演者	真島 久和	第40回日本小児神経学会東海地方会	2014/1/25
2	KLHL40遺伝子変異を認めた重症乳児ネマリンミオパチーの1例	筆頭演者	川瀬 恒哉	第40回日本小児神経学会東海地方会	2014/1/25
3	新生児期に診断し得たMowat-Wilson症候群の1例	筆頭演者	中村 勇治	第40回日本小児神経学会東海地方会	2014/1/25
4	水痘ワクチン接種後にワクチン株による水痘を発症したネフローゼ症候群の1例	筆頭演者	金原 有里	第260回日本小児科学会東海地方会	2014/2/9
5	症例検討：児童虐待 診断のヒントと問題点	筆頭演者	小山 典久	第171回東三河小児科医会症例検討会	2014/4/16
6	過去8年間の豊橋市内におけるコッホ(様)現象陽性例の検討	筆頭演者	河邊 宏幸	第261回日本小児科学会東海地方会	2014/5/18
7	小児一次救急医療体制強化のための地域小児救急全国協議会開催	共同演者	渡部 誠一	第25回日本小児科医会総会フォーラムin岩手	2014/6/14
8	血液検査変化量による川崎病IVIG不応例の予測について	筆頭演者	佐々木智章	第50回日本小児循環器学会総会・学術集会	2014/7/4
9	当院におけるダウン症候群の初期対応の現状と課題	筆頭演者	戸川 泰子	第50回日本周産期・新生児医学会	2014/7/13
10	動脈管早期収縮の原因としてハーブティが疑われた1例	筆頭演者	長柄 俊佑	第50回日本周産期・新生児医学会	2014/7/14
11	ピリドキシン依存症てんかんの1例	筆頭演者	真島 久和	第41回日本小児神経学会東海地方会	2014/7/26
12	灰白質主体の長髄節脊髄病変を示した急性散在性脳脊髄炎の1例	筆頭演者	小山 智史	第41回日本小児神経学会東海地方会	2014/7/26
13	発症から8年後にランゲルハンス細胞組織球症(LCH)に合致する中枢神経変性病変を認めた、中枢性尿崩症の1例	筆頭演者	中村 勇治	第41回日本小児神経学会東海地方会	2014/7/26
14	ロタウイルスワクチン接種率と便中ロタウイルス抗原陽性症例数の推移	筆頭演者	佐久間 肇	第50回中部日本小児科学会	2014/8/10
15	腹痛で発症した肺葉外肺分画症捻転の1例	筆頭演者	横井 克幸	第262回日本小児科学会東海地方会	2014/10/5
16	当院における極低出生体重児で生まれた13トリソミー、18トリソミー一児の予後	筆頭演者	山田 崇春	第59回日本未熟児新生児学会・学術集会	2014/11/10
17	カリウム吸着フィルター使用時の赤血球濃厚液の希釈の程度に関する検討	筆頭演者	小山 典久	第59回日本未熟児新生児学会	2014/11/10

研究会発表（医局）

<小児科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	当院における超低出生体重児に対する黄疸管理の状況	筆頭演者	山田 崇春	第12回新生児黄疸管理研究会	2014/2/1
2	ピルビン酸脱水素酵素複合体 (PDHC) 異常症を疑う男児例	筆頭演者	櫻井 典子	第44回胎児・新生児神経研究会	2014/2/1
3	片側巨脳症の1例	筆頭演者	加藤 泰輔	第44回胎児・新生児神経研究会	2014/2/1
4	DOORS症候群の一例とその責任遺伝子について	筆頭演者	真島 久和	第5回東海小児遺伝カンファレンスプログラム	2014/2/14
5	MD双胎において一児のみが先天異常を呈した2症例	筆頭演者	真島 久和	浜名湖カンファレンス2014	2014/3/2
6	重症心身障害児の蛋白摂取の必要性について	筆頭演者	酒井 喜規	第77回名市大小児科臨床集談会	2014/3/15
7	平成25年度紹介患者の統計と気になった症例	筆頭演者	伊藤 剛	第171回東三河小児科医会症例検討会	2014/4/16
8	当院におけるダウン症候群の初期対応の現状と課題	筆頭演者	戸川 泰子	平成26年度周産期医療従事者研修会(東三河北部・軟部医療圏)	2014/6/7
9	再膨張性肺水腫が疑われた症例	筆頭演者	河邊 宏幸	第78回名市大小児科臨床集談会	2014/9/20
10	自発呼吸下では手術不能と考えられたが、人工呼吸管理下で手術適応ありと判断した心室中隔欠損症・重症肺高血圧症の一例	筆頭演者	小山 智史	第116回東海小児循環器談話会	2014/11/23
11	トリロジー100を使用中に回路が外れアラームが作動しなかった事例の検討	筆頭演者	河邊 宏幸	第23回東海新生児研究会	2014/11/29

座長・司会（医局）

<小児科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	特別講演	小山 典久	周産期医療講演会	2014/1/30
2	一般演題	山田 崇春	浜名湖カンファレンス2014	2014/3/2
3	周産期医療とこころのケア	小山 典久	平成26年度周産期医療従事者研修会(東三河北部・南部医療圏)	2014/6/7
4	一般演題（口演）「血液1」	小山 典久	第50回日本周産期・新生児医学会	2014/7/14
5	血液2	小山 典久	第59回日本未熟児新生児学会	2014/11/10
6	特別講演2 「小児気道感染症とマクロライドーその傾向と対策ー」	小山 典久	第174回 東三河小児科医会 学術講演会・臨時総会	2014/11/15
7	特別講演1 「小児診療におけるカルニチン欠乏」	伊藤 剛	第174回 東三河小児科医会 学術講演会・臨時総会	2014/11/15

講 演 (医局)

<小児科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	2013年の新生児統計	幸脇 正典	周産期医療講演会	2014/1/30
2	新生児蘇生法講習	山田 崇春	周産期医療講演会	2014/1/30
3	ピボキシル基含有抗菌薬長期内服による低カルニチン血症に関連した脳症の一例	戸川 泰子	Carnitine Forum ～小児科領域のカルニチン欠乏症を考える～	2014/3/6
4	ともだちが重い病気になったとき	伊藤 剛	豊橋・学校いのちの日「いのち」の授業	2014/6/17
5	児童虐待対応における医療機関の役割	小山 典久	児童虐待対応体制整備研修会	2014/7/31
6	豊橋市におけるロタウイルスワクチン接種率と有効性	佐久間 肇	豊橋小児科医会学術講演会	2014/9/6
7	見逃してはいけない小児の疾患・症状について	小山 典久	小児救急に関する研修会	2014/11/27

論文・著書 (医局)

<小児科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	早産児晚期循環不全 (早産児急性期離脱後循環不全)	共同著者	小山 典久	改訂2版 新生児内分泌ハンドブック副腎皮質40-52新生児内分泌研究会2014
2	5.輸血療法	共同著者	小山 典久	NICUマニュアル 第5版III章 ハイリスク児181-189新生児医療連絡会2014
3	L 交換輸血	共同著者	小山 典久	NICUマニュアル 第5版V章 手技631-635新生児医療連絡会2014
4	輸血感染症	筆頭著者	幸脇 正典	周産期医学 44巻705-708頁2014年
5	Spontaneous movements in the supine position of preterm infants with intellectual disability	筆頭著者	Masanori Kouwaki	Brain & Development 36巻572-577頁2014年
6	胆嚢腫大を合併した川崎病にショックを伴った1例	筆頭著者	長柄 俊佑	小児感染免疫 25巻407-411頁2014年
7	Hypoxic ischemic encephalopathy in a case of intranuclear rod myopathy without any prenatal sentinel event.	筆頭著者	Koya Kawase	Brain & Development 2014年
8	Clinical features of late-onset circulatory dysfunction in premature infants	筆頭著者	Norihisa Koyama	Reserch and Reports in Neonatology 4号139-145頁2014年
9	児童虐待の現状と課題	筆頭著者	小山 典久	愛知県小児科医会会報 100号 14-18頁2014年